

令和7年度（令和6年度実施）
高知県公立学校教員採用候補者選考審査
筆記審査（専門教養）

中学校 高等学校 特別支援学校 中学部・高等部
家庭

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

【注意事項】

- 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
 - 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。

マーク例
(良い例) 
(悪い例) 

- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

- ※ 正しくマーク（正しい選択問題への解答及びマーク）していないと、正確に採点されませんので、注意してください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○0	○0	○0	○0	○0
●	○1	○1	○1	○1
○2	●	○2	○2	○2
○3	○3	●	○3	○3
○4	○4	○4	●	○4
○5	○5	○5	○5	●

記入例

（受審番号12345の場合）

- この問題は、【共通問題】、及び【選択問題 中学校】、【選択問題 高等学校】、【選択問題 特別支援学校】の各問題から構成されています。選択問題で受審種別以外の問題を選択して解答した場合、解答は全て無効となります。

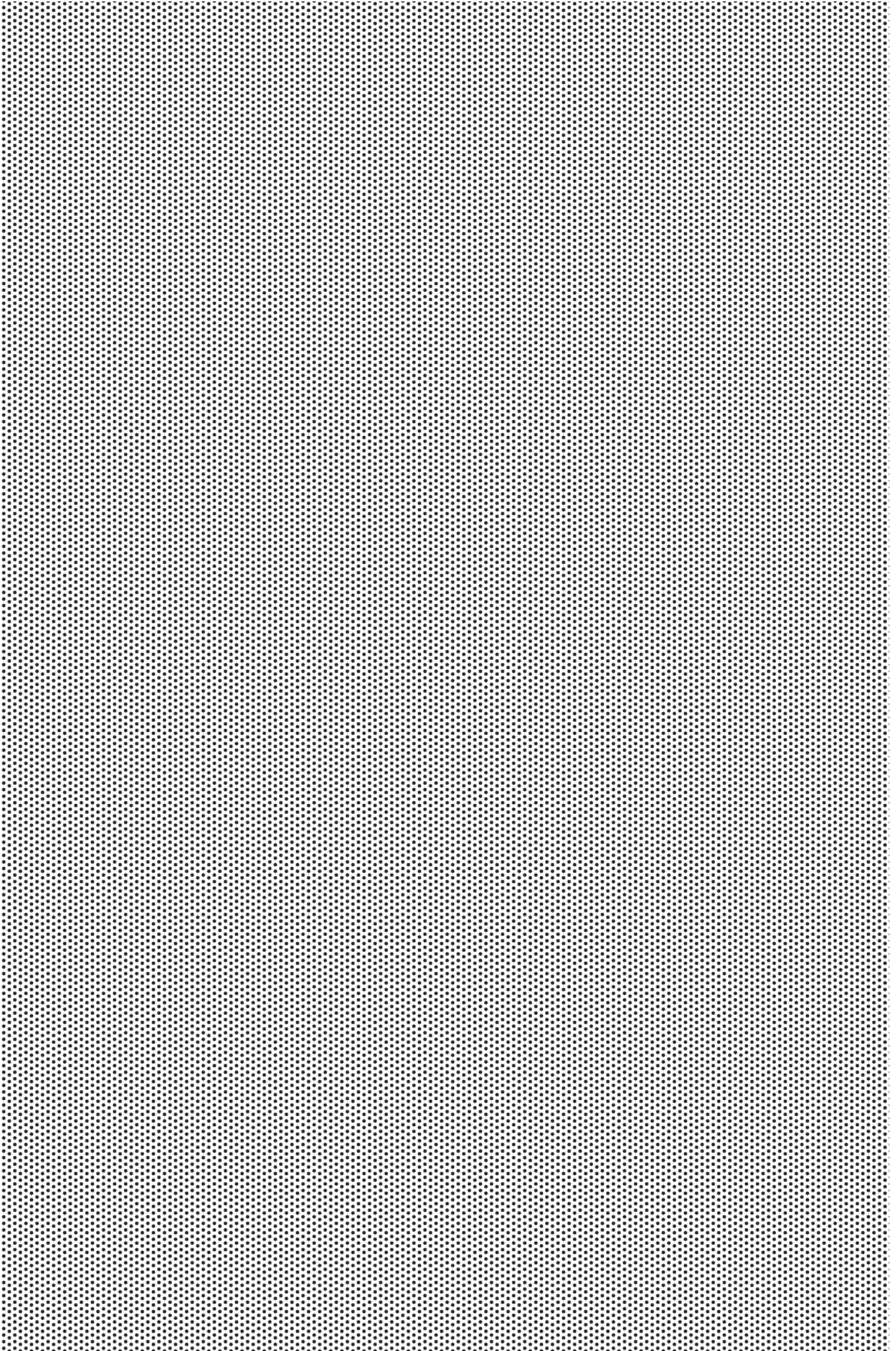
- 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号 ア と表示のある問いに対してbと解答する場合は、下の（例）のようにアの解答欄の b をマークしてください。

（例）

ア	○a	●	○c	○d	○e	○0	○1	○2	○3	○4	○5	○6	○7	○8	○9	○.	○-	○±
---	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。



【共通問題】

第1問 家族・家庭生活，保育，高齢者・福祉に関する各問いに答えなさい。

1 家族・家庭生活に関する(1)～(4)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」(平成25年法律第64号)第二条の一部である。

ア

に該当する語句として適切なものを，下のa～eから一つ選びなさい。

子どもの貧困対策は，子ども等に対する

ア

 の支援，生活の安定に資するための支援，職業生活の安定と向上に資するための就労の支援，経済的支援等の施策を，子どもの現在及び将来がその生まれ育った環境によって左右されることのない社会を実現することを旨として，子ども等の生活及び取り巻く環境の状況に応じて包括的かつ早期に講ずることにより，推進されなければならない。

a 法制上 b 財政上 c 社会との交流 d 総合的な取組 e 教育

- (2) 次の文は家族に関わる法改正の動きに関するものである。(ア)に該当する語句として適切なものを，下のa～dから一つ選びなさい。

イ

1 嫡出確定の範囲に例外を設ける方策

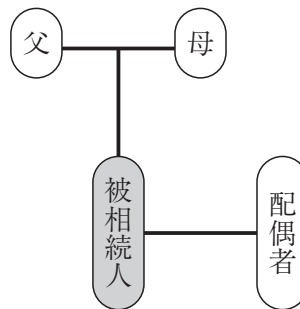
婚姻の解消等の日から300日以内に生まれた子は，前夫の子と推定するとの原則は維持しつつ，無戸籍者問題を解消する観点から，母が前夫以外の男性と再婚した後に生まれた子は，再婚後の夫の子と推定するとの例外を設けるものとする。

2 女性の(ア)の廃止

1の見直しに伴い，女性の(ア)を廃止する。

a 無戸籍者問題
b 嫡出否認の訴えの出訴期間
c 親権者による監護教育
d 再婚禁止期間

- (3) 被相続人の遺産が1200万円である場合、次の図における配偶者の法定相続分にあたる金額として適切なものを、下の a～e から一つ選びなさい。 ウ



- a 400万円
- b 600万円
- c 800万円
- d 1000万円
- e 1200万円

- (4) 次の①～⑤の文は、「日本の家族・家庭・世帯」について説明したものである。内容が正しい場合には○，誤っている場合には×とした場合，その組み合わせが適切なものを，下の a～e から一つ選びなさい。 エ

- ① 高度経済成長期に祖父母と同居しない核家族世帯の割合が増加した。
- ② 世帯とは，家族や個人が日常生活する場をさしている。
- ③ 生まれ育った家族から自立し，自分の意思と責任でつくる新しい家族のことを出生家族という。
- ④ 近年の単独世帯と「夫婦のみ」世帯の増加には，晩婚化や婚姻率の低下が影響を与えている。
- ⑤ 近年，平均世帯人員は減少し，世帯数も減少している。

	①	②	③	④	⑤
a	○	×	×	○	×
b	○	○	○	○	×
c	×	×	×	○	○
d	×	○	○	×	×
e	○	×	○	×	○

2 保育に関する（1）～（4）の問いに答えなさい。

（1） 次の図のような幼児のものの捉え方を示す語句として、最も適切なものを下の a～e から一つ選びなさい。

オ

- a 自己中心性
- b ハンドリガード
- c アニミズム
- d 自己意識
- e アタッチメント

（2） 次の文は乳幼児期の発達のためやすを示している。発達の順序として適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

カ

- a 首がすわる→お座りをする→ひとりで歩く→走る
- b 指でものをつまむ→物を握って振る→積み木を積む→ひもが結べる
- c 人の顔や声に興味を持つ→人見知りをする→あやすと声を出して笑う→自分の名前を呼ばれるとわかる
- d 喃語で応じるようになる→二語文を話す→「なぜ」「どうして」と質問する→三語文を話す

- (3) 消費者庁消費者安全課による『令和3年度子供の事故防止に関する関係府省庁連絡会議「子どもの不慮の事故の発生傾向～厚生労働省「人口動態調査」より～」』で乳児の不慮の事故の死因として最も多いものを、次のa～eから一つ選びなさい。

キ

- a 不慮の窒息
- b 交通事故
- c 不慮の溺死及び溺水
- d 転落・転倒・墜落
- e 煙，火災等

- (4) 次の文は、乳幼児の身体的な特徴を示したものである。正しいものの組み合わせを、下のa～eから一つ選びなさい。

ク

- ① 生後3，4日頃から，体重が1割ほど減少する。これは，肝臓が未発達なために生じる現象である。
- ② 刺激に対して，生まれつき反射的に反応をする。しかし，これは脳の発達とともに，徐々に見られなくなる。
- ③ 乳幼児は，幽門が未発達なため，食べた物を吐きやすい。
- ④ 出生時は頭囲よりも胸囲のほうが大きく，成長とともに逆転する。
- ⑤ 身長は，出生後1年で約1.5倍になる。

- a ①・②
- b ③・④
- c ④・⑤
- d ②・③
- e ②・⑤

3 高齢者・福祉に関する (1) ～ (5) の問いに答えなさい。

- (1) 介護サービスについて、語句とその説明の組み合わせとして適切なものを、次の a ～ e から一つ選びなさい。 ケ

	語句	説明
a	訪問看護	ホームヘルパーが自宅を訪問し、入浴や食事などの介護や生活援助を行う。
b	短期入所生活介護 (ショートステイ)	デイサービスセンターなどに通い、生活指導や日常生活訓練を受ける。
c	訪問介護	看護師や保健師が訪問してケアする。
d	通所介護 (デイサービス)	福祉施設などに短期間入所して介護などを受ける。
e	通所リハビリテーション (デイケア)	保健施設や診療所などに通い、機能訓練などを受ける。

- (2) 地域包括支援センターの業務の説明として適切ではないものを、次の a ～ e から一つ選びなさい。 コ

- a 医療行為
- b 介護予防ケアマネジメント
- c 総合相談支援
- d 権利擁護
- e 包括的・継続的ケアマネジメント支援

- (3) 社会保険について、語句とその説明の組み合わせとして適切なものを、次の a ～ e から一つ選びなさい。 サ

	語句	説明
a	医療保険	疾病や出産に対して医療サービスを提供する制度。
b	介護保険	30歳以上の国民が保険料を負担し、介護サービスを提供する制度。
c	公的年金制度	「健康で文化的な最低限度の生活」が営めない場合には、税金で保障し、自立に向けて支援する制度。
d	雇用保険	業務上の事故における労働災害や通勤災害を補償する制度。
e	労働者災害補償保険	高齢・障がい・死亡に際して、本人や遺族に給付を行う制度。

- (4) 下の図は、内閣府による「第9回高齢者の生活と意識に関する国際比較調査（令和3年3月公表）」における「家族の生活に果たす役割（年代別）」を示したものである。「日本」を示すものを、次のa～dから一つ選びなさい。
- | |
|---|
| シ |
|---|

家族の生活に果たす役割（年代別）

														(%)
		回答者数	家事を担っている	小さな子供の世話をしている	家族・親族の相談相手になっている	家計の支え手（かせぎ手）である	家族や親族関係の中の長（まとめ役）である	病気や障害を持つ家族・親族の世話をしている	その他	特に役割はない	無回答			
a	60～64歳	195		50.8	4.6	23.6	50.3	16.9	13.3	2.1	4.1	1.5		
	65～69歳	302		56.3	6.6	21.2	36.8	16.2	9.9	4.6	11.6	0.3		
	70～74歳	372		54.6	5.9	30.4	28.5	18.0	10.8	2.7	16.4	0.5		
	75～79歳	231		54.5	3.5	29.9	20.3	17.7	10.8	2.6	23.4	0.4		
	80歳以上	267		43.4	0.4	22.1	19.9	15.7	6.4	5.2	29.6	-		
b	60～64歳	189		75.1	16.9	70.9	49.2	57.7	27.5	7.4	4.2	-		
	65～69歳	229		82.5	16.2	72.9	48.0	63.8	23.6	5.2	2.2	-		
	70～74歳	209		80.4	12.0	66.5	50.2	66.0	20.1	3.3	3.3	-		
	75～79歳	174		79.9	9.8	62.6	56.9	72.4	19.0	6.3	4.6	-		
	80歳以上	205		69.8	3.9	59.0	44.4	72.7	16.6	4.9	5.9	-		
c	60～64歳	268		80.6	10.4	25.7	26.1	36.6	16.4	1.1	4.9	-		
	65～69歳	209		75.1	10.0	20.6	22.5	36.4	12.9	1.4	5.7	-		
	70～74歳	204		80.4	10.8	26.5	21.6	37.7	10.8	1.5	6.4	-		
	75～79歳	194		72.7	5.2	20.6	21.6	37.1	11.9	1.0	9.8	0.5		
	80歳以上	168		64.9	2.4	16.1	25.6	43.5	7.7	1.8	19.0	-		
d	60～64歳	302		85.4	3.3	29.1	50.0	20.9	9.9	5.3	5.3	1.3		
	65～69歳	329		84.8	2.7	23.4	38.6	16.7	5.2	4.9	4.6	0.6		
	70～74歳	355		80.6	1.1	13.8	33.2	16.6	2.8	4.2	8.5	2.0		
	75～79歳	254		81.1	0.8	12.6	33.5	15.0	2.4	4.3	4.3	2.0		
	80歳以上	288		62.5	0.3	5.6	30.6	13.5	2.8	6.9	19.1	3.1		

- (5) 次の①～⑤は、片まひのある人が前開きパジャマを着るときの介助の方法について示している。着替え介助の順序として適切なものを、下の a～e から一つ選びなさい。
- ス

- ① 背中側から健側にパジャマの袖を回し、肩にはおる。
- ② はおったパジャマの肩口から健側の手を入れ、腕を前方に伸ばすように袖に通す。
- ③ 患側の袖に手を入れ、パジャマを肩までたくし上げる。
- ④ 患者は、健側の手でパジャマのボタンを上からかけていく。介助者はサポートする。
- ⑤ 前を閉めてシワを伸ばし、パジャマを整える。

- a ①→②→③→④→⑤
- b ②→①→③→④→⑤
- c ③→①→②→④→⑤
- d ③→②→①→④→⑤
- e ③→④→①→②→⑤

第2問 衣生活，食生活，住生活に関する各問いに答えなさい。

1 衣生活に関する(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 繊維製品のリサイクル方法とその説明の組み合わせとして適切ではないものを，次のa～dから一つ選びなさい。 ア

	リサイクル方法	説明
a	ケミカルリサイクル	回収した衣料をもとの原料に戻し，再度衣料などの原料とすること。
b	マテリアルリサイクル	回収した衣料を材料のままウエスや反毛などに利用すること。
c	熱回収	回収した衣料を焼却して発電などに利用すること。
d	ペットボトルリサイクル	回収された衣料から再生した原料を使ってペットボトルを作ること。

(2) 被服に家庭用品品質表示法で定められている表示のうち，適切ではないものをa～eから一つ選びなさい。 イ

- a 原産国表示
- b 組成表示
- c 性能表示
- d 取り扱い表示
- e 表示者の表示

(3) 次の文は，布地に適したミシン糸とミシン針に関するものである。(ア)，(イ)に該当する言葉の組み合わせとして適切なものを，下のa～dから一つ選びなさい。 ウ

ミシン糸は番号が(ア)になると細くなる。
ミシン針は番号が(イ)になると太くなる。

	ア	イ
a	小さく	大きく
b	大きく	大きく
c	大きく	小さく
d	小さく	小さく

- (4) 化学繊維に関する説明として適切ではないものを、次の a ～ e から一つ選びなさい。

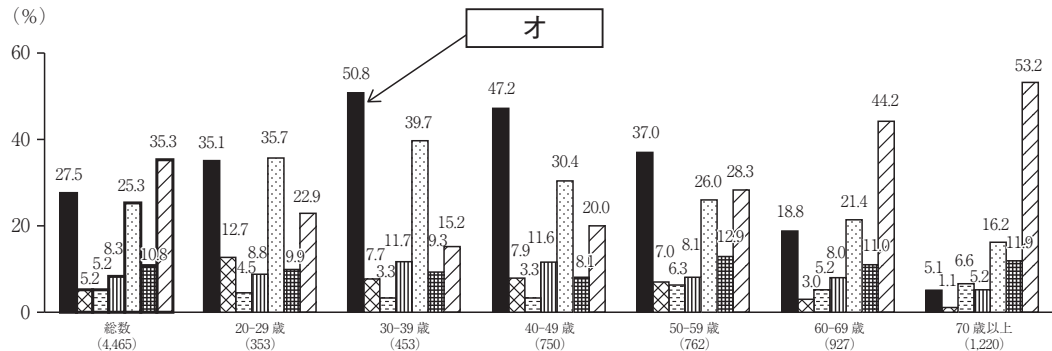
- a レーヨン^①は、天然のセルロースを利用して、繊維にした再生繊維で、肌触りがよく混紡・交織に適している。
- b ナイロン^②は、石油などを原料に、高分子化合物から繊維にした合成繊維で、紫外線で黄変する。
- c アセテート^③は、天然のセルロースに化学薬品などを作用させて繊維にした半合成繊維で、絹に似た感触と光沢がある。
- d アクリル^④は、石油などを原料に、高分子化合物から繊維にした合成繊維で、弾力性があり保温性が大きい。
- e キュプラ^⑤は、天然のセルロースを利用して繊維にした再生繊維で、吸湿性が小さくしわになりにくい。

2 食生活に関する (1) ～ (7) の問いに答えなさい。

- (1) 下の図は、厚生労働省による「令和元年国民健康・栄養調査結果の概要」における「健康な食習慣の妨げとなる点」を示したものである。 オ にあてはまる理由として適切なものを下の a ～ e から一つ選びなさい。

健康な食習慣の妨げとなる点 (20 歳以上、男女計、年齢階級別)

問: あなたの健康な食習慣の妨げとなっていることは何ですか。



- a 外食が多いこと
 b 自分を含め、家で用意する者がいないこと
 c 仕事（家事・育児等）が忙しくて時間がないこと
 d 経済的に余裕がないこと
 e 面倒くさいこと
- (2) 特別用途食品に含まれるものを次の a ～ e から一つ選びなさい。 カ
- a 病者用食品
 b 機能性表示食品
 c 栄養機能食品
 d 栄養調整食品
 e 栄養補助食品

- (3) 各地の郷土料理について、料理名と県名の組み合わせとして適切ではないものを、次の a ～ e から一つ選びなさい。 キ

- a 柿の葉ずし・奈良県
- b 魚の姿ずし・高知県
- c ふなずし・富山県
- d ばらずし・岡山県
- e ひつまぶし・愛知県

- (4) 1人分180mlのすまし汁を塩分濃度0.8%で5人分作るとする。その塩味を塩小さじ1杯で付け、残りをしょうゆで付けたい。ただし、しょうゆ小さじ1杯は1gの食塩相当量に、大さじ1杯は3gに換算する。その場合のしょうゆの量を次の a ～ e から一つ選びなさい。 ク

- a 小さじ1杯
- b 小さじ1・2／3杯
- c 小さじ1・1／3杯
- d 小さじ1・1／4杯
- e 小さじ1・1／5杯

- (5) 加熱調理器具の種類とその仕組みの組み合わせとして適切ではないものを、次の a ～ e から一つ選びなさい。 ケ

	種類	仕組み
a	電子レンジ	マイクロ波（電磁波）を食材の水分子に当てて振動させて発熱させる。
b	オーブン	熱の対流と赤外線効果によって食品全体にムラなく火が通る。
c	トースター	電熱線からの放射熱で焦げ色をつくり直接食品を温める。
d	グリル	中に蒸気を閉じこめ、内部の圧力を上げることで高温加熱を行う。
e	I H調理器具	磁力線がなべ底を通るときにうず電流となり、その電気抵抗でなべ自体が発熱する。

- (6) 各調理器具とその名称の組み合わせとして適切ではないものを、次の a ～ e から一つ選びなさい。 コ

	調理器具	名 称
a		肉たたき
b		鬼おろし
c		すりばち
d		ピーラー
e		急須

- (7) 厚生労働省「食中毒統計調査（2022年）」の「病因物質別事件数発生状況」の事件数において、最も多い原因を次の a ～ e から一つ選びなさい。 サ

- a アニサキス
- b ぶどう球菌
- c ウエルシュ菌
- d ノロウイルス
- e カンピロバクター

3 住生活に関する (1) ～ (3) の問いに答えなさい。

(1) 次の計算式によって求められるものは何か、下の a ～ e から一つ選びなさい。

シ

建築面積

敷地面積

×

100

- a 有効採光面積
- b 容積率
- c 建ぺい率
- d 最低居住面積水準
- e 延べ面積

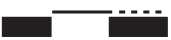
(2) 循環型社会の形成促進に役立てるために、住居を含む建築物全般の建設廃棄物の減少をめざしたものを次の a ～ d から一つ選びなさい。

ス

- a 建設副産物情報交換システム
- b 住生活基本計画
- c 被災者生活再建支援法
- d 建設リサイクル推進計画2020

(3) 平面表示記号とその意味の組み合わせとして適切なものを、次の a ～ e から一つ選びなさい。

セ

	a	b	c	d	e
記号					
意味	片引き戸	引き込み戸	雨戸	引違い窓	格子付き窓

第3問 家庭経済、消費生活・環境に関する各問いに答えなさい。

1 家庭経済に関する(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 金融商品の特徴を述べた文章として適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

ア

- a 投資信託は安全性重視の金融商品である。
- b 株式は流動性重視の金融商品である。
- c 国債は流動性重視の金融商品である。
- d 普通預金は流動性重視の金融商品である。
- e 定期預金は収益性重視の金融商品である。

(2) 個人情報について、基準を満たして適正に管理していると認められた事業者に与えられるマークとして適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

イ

a	
b	
c	
d	
e	

- (3) インターネットなどで影響力を持つ人物が、消費者に気づかれないように宣伝する方法を表す言葉として適切なものを、次の a ～ e から一つ選びなさい。

ウ

- a アポイントメント・セールス
- b サクラサイト商法
- c ステルスマーケティング
- d デジタルタトゥー
- e ネガティブ・オプション

2 消費生活・環境に関する (1) ～ (3) の問いに答えなさい。

- (1) 次の表は、資源エネルギー庁による「日本のエネルギー（2022年2月発行）」における2018年の世界の二酸化炭素（CO₂）排出量に占める国・地域別の割合を上位から順に示したものである。

エ

にあてはまる国名として適切なものを下の a ～ e から一つ選びなさい。

順位	国・地域	割合（％）	
1	中国	28.4	
2	アメリカ	14.7	
3	E U（28カ国）	9.4	
4	<table border="1"><tr><td>エ</td></tr></table>	エ	6.9
エ			
5	ロシア	4.7	
6	日本	3.2	
	その他	32.7	

- a オーストラリア
- b 韓国
- c サウジアラビア
- d インド
- e ブラジル

- (2) 国際標準化機構（ISO）の説明として適切なものを、次の a ～ e から一つ選びなさい。

オ

- a 景品表示法に基づいて、消費者庁及び公正取引委員会が認定する「規約」である。
- b 製品を輸出するためにはグローバル・スタンダードに従っていることが求められるため、主に輸出品を製造する企業が取得する規格である。
- c 開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目的とした公平な貿易のしくみである。
- d 食品製造の工程で危害を起こす要因を分析し、最も効率よく管理できる部分を管理し、安全を確保する方法である。
- e 電気分野をのぞく工業分野の国際規格を策定し、認定する組織のことで、企業などが環境に配慮した取り組みにもとづいた生産活動をするためにいくつかの環境基準を設けている。

(3) エネルギーや工業原料として利用されるトウモロコシや木材などの生物体の総称を表す言葉として適切なものを，次の a ～ e から一つ選びなさい。

カ

- a 化石燃料
- b ゼロ・エミッション
- c バイオマス
- d プランテーション
- e マイクロプラスチック

【選択問題 中学校】

第4問 学習指導要領に関する次の問いに答えなさい。

次の文は、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 技術・家庭編（平成29年7月）第2章 技術・家庭科の目標及び内容 第3節 家庭分野の目標及び内容 3 家庭分野の内容 A 家族・家庭生活の一部である。ア～カに該当する語句として適切なものを、それぞれ下のa～eから一つ選びなさい。

(2) 幼児の生活と家族

(中略)

ア（ア）幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解すること。

ここでは、幼児の心身の発達とそれを支える生活や、幼児期における周囲の人との基本的な信頼関係やアの形成の重要性が分かり、幼児にふさわしい生活を整える家族の役割について理解できるようにする。

幼児の発達の特徴については、身体の発育や運動機能、言語、認知、情緒、社会性などの発達の概要について理解できるようにする。また、これらの発達の方向性や順序性ととも、個人差があることを理解できるようにする。その際、認知については、ものの捉え方について扱い、幼児はイに物事を考えたり、生命のないものにも命や意識があると捉えたりするなどの特徴があることを理解できるようにする。

幼児の生活の特徴については、幼児の遊びを中心とした1日を過ごしており、昼寝をするなど全体の睡眠時間が長く、3回の食事以外にも間食をとるなどの生活リズムをもっていることを理解できるようにする。

また、食事、睡眠、排泄、着脱衣、清潔などの基本的な生活習慣については、生活のウの基礎となるので、幼児の心身の発達に応じて、親をはじめ周囲の大人が適切な時期と方法を考えて身に付けさせる必要があることを理解できるようにする。

(中略)

子供が育つ環境としての家族の役割については、幼児の心身の発達を支え、生活の自立に向けた生活習慣の形成を促すために、幼児にふさわしい生活を整える役割があることを理解できるようにする。

(中略)

指導に当たっては、身近な幼児と幼児に関わる人々の観察や視聴覚教材の活用、エなどの学習活動を通して具体的に扱うよう配慮する。

(中略)

ア（イ）幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解すること。

(中略)

幼児にとっての遊びの意義については、幼児にとって遊びは生活そのものであり、身体の発育や運動機能、言語、認知、情緒、社会性などの発達を促すことや、特に成長に応じて友達と関わりながら遊ぶことが大切であることを理解できるようにする。

(中略)

また、子供の成長にとっては、室内遊びだけでなく戸外での遊びも大切であることや、適切で十分な遊びを経験できる環境が重要であることを理解できるようにする。さらに、**オ**についても触れ、そのよさや日本の生活文化の継承にも関わることに気付くようにする。

幼児との関わり方については、幼児の発達や生活の特徴を踏まえ、幼児に応じた関わり方を考えることが大切であることを理解できるようにする。

(中略)

指導に当たっては、幼児を観察したり、一緒に遊んだりするなどの直接的な体験を通して、遊びの意義や幼児との関わり方について実感を伴って理解できるように配慮する。なお、幼児を実際に観察したり、触れ合ったりすることが難しい場合には、視聴覚教材を活用したり、**エ**をしたりする活動などが考えられる。

イ 幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫すること。

(中略)

実践の評価・改善については、計画どおりに実践できたかどうかなどを振り返って評価し、実践発表会などを通して、改善方法について考えることができるようにする。

(中略)

指導に当たっては、幼児と触れ合う活動については、地域の幼稚園、保育所、認定こども園などと連携しながら、効果的に実施できるように工夫するとともに、幼児及び生徒の安全に配慮することが大切である。事前の打ち合わせを十分に行い、対象とする幼児の発達や興味などを把握して活動の計画を立てるようにし、体験後に記録をまとめたり、話し合ったりして**カ**を十分行うようにする。(以下略)

ア	a 幼児にふさわしい生活 c 人格 e 親子関係	b 家族関係 d 生活習慣
イ	a 自己中心的 c 主体的 e リズミカル	b 具体的 d 協働的
ウ	a 自立 c 主体 e 価値観	b 発達 d 環境
エ	a 探究 c 情報収集 e ロールプレイング	b ボランティア活動 d 問題解決
オ	a 地域の祭り c 生活の文化や知恵 e ユネスコ無形文化遺産	b 伝承遊び d 地域の伝統的な行事
カ	a 触れ合う活動 c 振り返り e 課題の解決に向かう過程を重視した学習	b 活動の計画 d 実践発表会

【選択問題 高等学校】

第4問 学習指導要領に関する次の問いに答えなさい。

次の文は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説（平成30年7月）第1部各学科に共通する教科「家庭」第2章 家庭科の各科目 第2節 家庭総合（3）子供との関わりと保育・福祉の一部である。[ア]～[カ]に該当する語句として適切なものを、それぞれ下のa～eから一つ選びなさい。

ア（ア）乳幼児期の心身の発達と生活、子供の遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援について理解を深め、子供の発達に応じて適切に関わるための技能を身に付けること。

（中略）

乳幼児期の生活については、[ア]の形成、食事や衣服、健康管理と安全への配慮などに関する事項について理解できるようにする。また、家庭保育と集団保育を取り上げ、子供の発達と環境との関わりについて理解できるようにする。

子供の遊びと文化については、遊びが子供の生活において重要であり、遊びを通して様々な心身の発達が促されることを具体的に理解できるようにする。また、遊びの意義や重要性を理解し、子供のための[イ]などについても理解できるようにする。

（中略）

親の役割と保育については、乳幼児期は、その発達の段階に応じた親の働きかけが重要であることを親の保育態度と関連付けて理解できるようにする。また、子供は生活の中で人との関わりを通して育つことから、親や家族の関わり方や家庭生活が果たす役割の重要性について理解できるようにする。特に、乳児期の親との関わりによる[ウ]の形成は、将来の人間関係の基礎となることを理解できるようにする。

（中略）

子供の発達に応じて適切に関わるための技能については、乳幼児や小学校の低学年の児童との触れ合いや交流、親や保育者が子供と関わる姿の観察など、実践的・体験的な学習活動を通して、子供や保育への関心をもち、個々の子供の発達の段階に応じて適切に関わるための技能を身に付けることができるようにする。例えば、乳児の[エ]の対処や抱き方、寝かせ方、乳幼児の着替えの援助や絵本の読み聞かせなど、個々の子供の発達の段階や個人差に応じた接し方を実践したり、安全や衛生に気を配り室内外の環境を整えたり、子供の目の高さで優しく、分かりやすい言葉で話しかけたり、話を聞いたりすることなどが考えられる。

（中略）

ア（イ）子供を取り巻く社会環境の変化や課題及び子供の福祉について理解を深めること。

子供を取り巻く社会環境の変化や課題については、例えば、少子化や都市化、核

家族化などの社会環境の変化による人間関係の希薄化，家庭や地域の **オ** の低下，自然と触れ合う経験の不足，育児不安や孤立感，子供の貧困や虐待，保育所不足と待機児童の問題などを取り上げ，現代の子供や子育て家庭を取り巻く社会環境の課題について理解し，社会全体で子育てを支援していくことの重要性を理解できるようにする。

子供の福祉については，次世代を担う全ての子供が健やかに育つことを目的とする児童憲章や児童福祉法，児童の権利に関する条約などに示された児童福祉の理念について，子供は保護され養育される存在としての権利をもつとともに，人間として一人一人の人格が尊重される存在でもあることを理解できるようにする。

また， **カ** の場として幼稚園，保育所，認定こども園などを取り上げ，それぞれの特徴や役割を理解できるようにする。（以下略）

ア	a 身体 d 情緒	b 運動機能 e 親子関係	c 基本的生活習慣
イ	a 儀礼 d 児童文化財	b 保育の重要性 e 年中行事	c 福祉
ウ	a 愛着 d 交流	b 触れ合い e 親の役割	c コミュニケーション
エ	a 溢乳 d 事故	b 睡眠 e 食事	c 排泄
オ	a 課題を解決する力 d 判断力	b 協力 e 教育力	c 問題解決能力
カ	a 養育 d 保育	b 集団保育 e 成長	c 教育

【選択問題 特別支援学校】

第4問 次の1～5の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、令和4年12月に文部科学省より示された「生徒指導提要」の一部である。

発達障害を含む障害者への差別の解消に関して、平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（いわゆる「障害者差別解消法」）が施行されました。この法律では、障害を理由とする「」の禁止と障害者への「合理的配慮の提供」が求められています。とは障害者の権利利益を侵害することです。合理的配慮の提供とは、から社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合は、その実施に伴う負担が過重でないときは、障害者の権利利益を侵害することとならないよう、社会的障壁の除去の実施について必要かつ合理的な配慮に努めなければならないということです。

- (1) 空欄アに入る語句を、次のa～dの中から一つ選びなさい。

- a 不当な差別的な取扱い b 活動の制限
c 各種機会の提供の拒否 d 選挙活動の制限

- (2) 空欄イに入る語句を、次のa～dの中から一つ選びなさい。

- a 学級担任 b 障害者
c 医師 d 関係者

- 2 次の文は、令和3年9月に文部科学省から通知された「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律の施行について（通知）」にある「留意事項」の一部である。

文中の ～ に当てはまる語句を下の1～9の中から一つずつ選びなさい。

(1) 定義（第2条関係）

- ① 「医療的ケア」の定義は、人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の であり、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校（以下「学校」という。）において、 の指示の下、医療的ケア看護職員や喀痰吸引等（社会福祉士及び介護福祉士法（昭和62年法律第30号）第2条第2項に規定する喀痰吸引等をいう。以下同じ。）を行うことができる介護福祉士、認定特定行為業務従事者（社会福祉士及び介護福祉士法附則第3条第1項に規定する認定特定行為業務従事者をいう。以下同じ。）が従前から行っている医療的ケアの範囲を変更するものではないこと。（第2条第1項関係）
- ② 「医療的ケア児」の定義は、日常生活及び社会生活を営むために に医療的ケアを受けることが不可欠である児童であり、18歳未満の者に加え、18歳以上の者であって、高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部に在籍する者も含まれること（以下「児童生徒等」という。）。（同条第2項関係）

- | | | | | |
|-------|--------|-------|--------|--------|
| 1 学校長 | 2 医療行為 | 3 定期的 | 4 医師 | 5 健康管理 |
| 6 恒常的 | 7 養護教諭 | 8 緊急的 | 9 看護行為 | |

ウ
エ
オ

- 3 次の文は、「特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月）」の一部である。

児童生徒一人一人の学習状況を に評価するため、 の目標に準拠した評価の観点による学習評価を行うことが重要である。一つの授業や単元，年間を通して，児童生徒がどのように学ぶことができたのかや，成長したのかを見定めるものが学習評価である。

（中略）

なお，教科別の指導を行う場合や各教科等を合わせて指導を行う場合においても， の目標に準拠した評価の観点による学習評価を行うことが必要である。

- (1) 空欄力に入る語句を，次の a～dの中から一つ選びなさい。

a 長期的 b 短期的 c 効率的 d 多角的

- (2) 空欄キに入る語句を，次の a～dの中から一つ選びなさい。

a 自立活動 b 6区分27項目 c 各教科 d 各段階

- 4 次の文は、「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年3月）」の一部である。

自立活動は，特別支援学校の教育課程において特別に設けられた である。この自立活動は，①授業時間を特設して行う自立活動の時間における指導を中心とし，各教科等の指導においても，自立活動の指導と密接な関連を図って行われなければならない。このように，自立活動は，障害のある幼児児童生徒の教育において，教育課程上重要な位置を占めていると言える。

- (1) 空欄クに入る語句を，次の a～dの中から一つ選びなさい。

a 指導形態 b 指導領域 c 教科 d 専門教科

- (2) 下線部①「授業時間」について，「特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月）」では，児童又は生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じてどのように定めるとされているか，次の a～dの中から選びなさい。

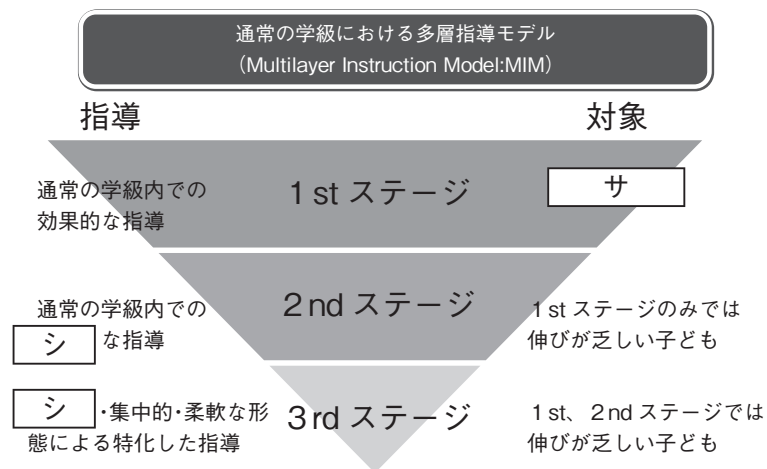
a 年間10単位時間から280単位時間までを標準とする。
 b 年間35単位時間から280単位時間までを標準とする。
 c 年間7単位を超えない範囲で定めるものとする。
 d 適切に定めるものとする。

5 次の文は、高知県教育委員会で作成した『すべての子どもが「分かる」「できる」授業づくりガイドブック〔改訂版〕』（令和3年3月）の一部を示したものである。

文中の ～ に当てはまる語句を、下の a ～ d の中からそれぞれ一つ選びなさい。

(2) 通常の学級における学習につまずきのある子どもへの支援の在り方

通常の学級において、学習につまずきのある子どもへの対応を考える上で、多層指導モデル（MIM）が参考になります。これは、異なる学力層の子どものニーズに対応した指導・支援を提供していこうとするモデルであり、特に子どもが学習に に、また、つまずきが重篤化する前に指導・支援を行うことを目指すものです。MIMでは、まず1stステージでは、通常の授業の中で質の高い指導を に実施します。2ndステージでは、1stステージのみでは伸びが十分でない子どもに対して、通常の授業に加え、その他の時間帯等も使いながら、 な指導を行っていきます。その子ども向けの教材、その子どもに向けての指示等、通常の学級内での な指導ととらえます。3rdステージでは、1stステージ、2ndステージの指導を行ってもなお、伸びが乏しい子どもに対し、より個に特化した集中的な指導を実施します。、集中的に柔軟な形態での特化した指導を目指します。指導の場としては、通常の学級内にとどまらず、 等での指導も考えられます。



引用文献

「通常の学級における学習につまずきのある子どもへの多層指導モデル（MIM）開発に関する研究」海津他【2008】

- | | |
|------------|-----------|
| a つまずいた時 | b つまずく前 |
| c 興味がもてない時 | d 集中できない時 |

- | | |
|--------------|------------------|
| a 全ての子ども | b 特異な才能のある子ども |
| c つまずきのある子ども | d 特別な配慮を必要とする子ども |

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| a 発展的 | b 総合的 | c 横断的 | d 補足的 |
|-------|-------|-------|-------|

- | | |
|----------|-------------|
| a 居住地校交流 | b 通級指導教室 |
| c 適応指導教室 | d 交流および共同学習 |

